

秘書→ホテルサービス
国松智恵さん(33歳)
Chie Kunimatsu



明るい笑顔が魅力的な国松さん。タイでも中国でもすぐに人脈を広げたのも、うなずける

取材・文/堅田美和子 撮影/町川秀人 取材協力/コートヤード・バイ・マリオット順徳

待っているだけでは何も始まらない。
インターンを経てホテル業界に転職!

インターン時代に学んだ
積極的に人と接すること

中国・順徳の「コートヤード・バイ・マリオット順徳」で働く、国松智恵さん。チェックイン、チェックアウト、特別なリクエストやクレームへの対応などが主な仕事内容だ。

「お客様から感謝されたときや、問題発生時にお客様に一生懸命ご説明して最後に納得してもらえたとき、この仕事を選んでよかったと思うんです」。



インターンをしていた「バンコク・コンラッド・ホテル」の年末パーティーで同僚と一緒に

国松さんは、21歳でのカナダ留学後、札幌の建設会社で働いていたが、「海外への思い」を断ち切れなまま働いていたという。そんなとき、会社近くにあった海外インターンシップ専門の手配会社「トラジャールインターンシップ」を訪れた。「タイのホテルで働いていたという女性の話をうかがい、刺激を受けました」。

そして国松さんはすぐ転職を決意。タイ・バンコクの「バンコク・コンラッド・ホテル」で、ゲストリレーションとして1年間のインターンを始めた。

「最初は、同僚ともなかなか打ち解けられませんでした。でも、これではダメだと思い、勇気を出して、自分から積極的に人と接するようにソフトチェンジしました」。

そんな国松さんの努力は、すぐに実を結ぶ。人間関係はどんどん広がり、ホテルの仕事の楽しさも覚えていった。

「ホテルでの仕事は、1日24時間という時間の中で、さまざまな対応を迫られますが、ひとつの部署では対応しきれないこともしばしば発生します。ホテルのシステムは、それをフォローするように別のさまざまな部署が存在し、その中でホテル全体が運営されているのです。その一員としてこのホテルで働いていることに、とても誇りを感じています」。

「中国語はゼロからのスタートでしたが、フロントスタッフとの会話などで鍛えられました。一年半ぐらいで徐々に慣れ、今では日常会話レベルならなんとかなります」。

タイでのインターン後、国松さんは、中国・順徳の「コートヤード・バイ・マリオット順徳」で正社員として働き始めるにいたる。

「ホテルのスタッフや、順徳の街の人々が、とてもやさしいんです。ここに来て中国という国を理解できるようになったし、さらに好きになりました」。

英語はもともと好きで勉強していたと

「中国語はゼロからのスタートでしたが、フロントスタッフとの会話などで鍛えられました。一年半ぐらいで徐々に慣れ、今では日常会話レベルならなんとかなります」。

そんな国松さんは、朝7時30分出勤、16時に退社、という毎日を送る。

「休みは毎月異なりますが、土・日・祝日の日数は休日が取れるので、まとまった休暇を取れることもあります。シフトは朝晩の2交代制です」。

休日の楽しみは、旅行だとか。1日だけの休みでも、香港やマカオなど近くの街へぶらぶらと出かけてみたり、広州近くに住んでいる友人（以前の同僚）に会いに行ったりするそうです。いつかは、四川省でパンダを抱っこしたいという。

そして、いまマネージメントの勉強を始めているそうです。「勉強を続けて、もっともって、的確な判断ができる人になりたいですね」と、国松さんは未来への展望を語ってくれた。



インターン時代は英語しか話せなかったが、いまでは中国語も使いこなす
「的確な判断ができる人」を目指した仕事ぶりに、社内の人望や信頼も厚そうだ



順徳でのビジネス、観光に便利な「コートヤード・バイ・マリオット順徳」。香港、マカオにも近い



朝7時30分に出勤。チェックイン、チェックアウトの確認・ブリーフィングを行う



左から、上司のジェイドさん、コンシェルジュのステイブンさん、同僚のデザインさん



ルームメイトとは一緒に映画を見たり、おしゃべりしたりと仲良しだ



中国に来て働きながら中国語の勉強を始めた。しかも、標準語と広東語の両方だ
滞在はホテルの部屋を同僚とシェア。時間があるときは、中国語のブラッシュアップを続けている

Advice from Chie Kunimatsu

思い立ったが吉日! 少しでも興味があればぜひ挑戦してほしいです。スタッフはもちろん、お客さま、地元の人々など、日本国内だけでは考えられない素晴らしい人々との出会いが待っています。何物にも代えがたい一生の経験として今後の生活に役立つはず。また海外でのインターン経験は、楽しいことが、日本の倍以上ありますよ。

国松さんが参加したプログラム
株式会社ホスピタリティ
トラジャールインターンシップ

トラジャールインターンシップで扱うインターンシップ・プログラムは、1年間で65万円。高級ホテル以外にも、クルーズや旅行会社など研修先は多数あり、自分に合った受け入れ先を紹介してもらえる。アジアのホテルの場合、宿泊、食事、おごつかいを提供してくれる受け入れ先がほとんどで、年間の費用は留学やワーキングホリデーの2分の1から3分の1で済むのが特徴だ。興味のある方は、無料説明会や個別カウンセリングを受けてみよう!

☎03-5386-3081 (東京)
☎011-207-2888 (札幌)
<http://www.trajal-internship.jp/>
プログラム一括資料請求 NO.TRJ1999-41A